

令和３年度第１回三郷市子ども・子育て会議会議録		
開催日	令和３年８月１７日（火）	
開催方法	書面開催	
意見等回答期間	令和３年８月１７日（火）から８月３１日（火）	
委員氏名 （意見書等提出者 15名） （敬称略）	◎岡田 耕一、○篠宮 尚、笛木 大地、上村 優子、石原 沙織、永塚 光洋、山口 伸久、美田 智幸、杉浦 正俊、和井田 美和、渋谷 かつ枝、佐々木 六男、小林 照男、横内 浩一、神谷 真優美	
議事と審議結果	1. 委嘱書交付（郵送にて交付） 2. 会長及び副会長選出（書面にて） 会長、岡田耕一委員 副会長、篠宮尚委員 選出 3. 議事 （１）「第２次三郷市児童育成行動計画（後期）」の進捗状況及び年間報告について 結果：承認１５名、非承認０名	
(1)「第２次三郷市児童育成行動計画（後期）」の進捗状況及び年間報告についての意見及び回答		
意 見		回 答
P1	No.3家庭児童相談室 相談件数も多く、事業内容の浸透を感じます。苦悩する一人一人の親に深い心づかいや対応して上げることは、とても大切なことです。どんな相談内容が占めているのでしょうか？	【事務局】 育児の悩みや発達、養育に関する事、家族問題等の相談が大半を占めています。その他に、学校生活、性格や習慣に関する事など多岐にわたっております。
P3	No.25情報モラル教育の推進 市内小学５、６年生と中学生を対象に行ったケータイ・スマホ実態調査の結果や分析は保護者には何らかの形で報告されているのですか。年々低年齢化し、依存しがちになっている現状において、高校の懇談会でも常に議論されているので関心はかなり高いと思います。急速に変化しているネット環境や保護者世代の考え方の違いなど、多様化している家族の在り方や生活スタイルを考えると分析も対策の方法も困難だと感じています。	【事務局】 ５・６年生児童・保護者及び中学生対象とした「ケータイ・スマホ実態調査」結果概要については、全児童・生徒へ学校を通じ配布しております「青少年ホームだより」において、家庭にフィードバックする予定ですまた、児童・生徒には「ネットトラブル予防講座」の活用や通年行っております保護者を対象とした「親の学習講座（情報機器に関する悩み）」においてテーマとして取り上げ、情報モラルの向上に向けた取組を行っています。さらに、市作成の小学生版「５つのケータイルール」を小学４年生以上の家庭に配付し活用の啓発も行っています。今後も低年齢化に伴い、青少年ホームだよりを通し、全家庭に周知及び活用の啓発も行っておりまいます。

P7	No.37幼児・児童対象事業（乳幼児から小学生）【文化センター】 事業の中でキッズ体操等、費用は無料でしょうか。	【事務局】キッズの英語体験・キッズのジャズダンス体験講座等は、参加費は有料となります。キッズのジャズダンスは、ダンス講師2名にて行っております。 No.36ポタジェ体験1,000円、No.37キッズのジャズダンス600円、No.37キッズの英語体験600円、No.39キッズのお菓子パン教室1,000～1,300円（制作するパンによって金額変更あり）、No.40ピアラシティ交流センターフェスタ入場無料、ただし、各コンテンツにおいては一部有料
P10	No.47公園施設の維持管理 公園の整備も推進され、親子での公園活用が増加しています。そんな中、公園内の犬の散歩、犬を入れての利用の多々見受けられます。公園内は、子ども達が安心して土いじりなどできるよう、安心安全な（衛生上）場所でないといけないと思います。公園の看板の見直しをしていただくことも必要では無いでしょうか？	【事務局】公園内での犬の散歩等につきましては、糞尿の始末など一般的なマナーを守っていただきながら利用されている事と思いますが、設置されております注意看板につきましては、文字のみの標記であり、隅々まではお読みいただけない場合もあるかと存じます。年齢等を問わず幅広い方々が、一目で内容を理解できる事が大切ですので、今後、文字に加えピクトグラム等にて注意を促す看板等の設置を検討してまいります。
P13	No.67環境教育出前講座 環境教育は、早急課題でもあるSDG s の取り組みを行っていく上で、小学生だけでなく、中学生に向けても積極的なスタンスで進めてもいいのではないのでしょうか。	【事務局】中学校教育においては、環境またはSDGsに関連する学習は、すでに複数の教科の授業で取り入れられておりますので、環境のみに特化したプログラムについては、教育委員会と協議し検討してまいります。また、民間事業者が実施する環境教育講座等のメニューも充実しているため、それらの活用及び連携といった手法もあわせて検討してまいります。
P16	No.82乳幼児健康診査 乳幼児健診で「要受診」判定後の医療機関受診率70%台についてはどう捉えればいいのでしょうか。その後の判断は保護者次第ということでしょうか。	【事務局】母子保健計画の目標値であり、受診率80%を目標として取り組んでいます。紹介状で返信の無い方には、電話や手紙を送付し受診の有無を確認し、受診していない方には再度受診を勧奨しています。未受診の理由は、保護者は受診意向があるが、予約が取れず初診まで時間がかかったり、保護者が様子をみたいと受診に消極的な場合などもあります。しかし重篤な疾患が懸念される場合は、受診につながるまで保護者に受診勧奨を行っています。
P17	No.85地域コンサルテーション（巡回相談）事業、 No.86子ども発達支援センター事業 気になる児童がいた場合、教員も専門家に相談できているのか。	【事務局】未就学児については、集団生活（幼稚園、保育所等）の場所に出向き、保育上の課題や気になるお子さんについて保育士等に助言を行い、集団生活での適応能力の向上を目指しております。 【事務局】小・中学校では、スクールカウンセラーや埼玉県立三郷特別支援学校のコーディネーターが来校し、児童生徒や保護者、教員の相談や助言をしてくださっています。また、学校は市の巡回アドバイザーの訪問や臨床心理士による巡回コンサルテーションなどにより助言を受けることができる体制になっております。

各施策について、告知方法次第ではもっと参加人数が増えると思われます。SNSを活用した告知を行ってみてはいかがでしょうか。	【事務局】市のツイッター、フェイスブック、また「ポケットみさと」（アプリ）などを活用しているところですが、さらに多くの方に周知できるよう、手法について考えます。
しいのみ学園の建物の老朽化に対して再整備などを検討する予定はありますか？障害のある児童（親）にとってかけがえのない施設です。園庭が民家に隣接、送迎用の駐車場が無いなど、行政から手厚く守られている印象が受けにくいと思います。近年、民間療育が拡充していますが、市が運営する施設も必須と思われます。閉園した公立保育園施設の転用なども含め、再整備の検討をお願いしたいと思います。	【事務局】しいのみ学園の建物は平成5年3月に完成し、多くの方に利用していただいております。これまで修繕や整備を重ねてまいりました。今後は、市の施設の建替えなど総合的な動きも注視し、計画的に管理し、施設の長寿命化を図ってまいります。
P1 No.1人権セミナー、P2 No.14交通安全こども自転車乗り大会、P3 No.24親の学習推進事業、P4 No.30放課後子ども教室推進事業、No.31児童館（育児情報の交換・交流）、P5 No.34赤ちゃんひろば（北公民館・北児童館共済事業）、P12 No.59親子環境教室、P13 No.67環境教育出前講座 新型コロナウイルス感染防止の為、当然ながら事業の中止や回数減が生じたことは止む得ませんが、事業の評価が「C、D」となっています。この評価の観点の見直しをしたら如何でしょうか？一般市民からみますと、怠業と誤解しかねません。	【事務局】評価は、目標値に対しての実施率から区分けを行っています。長期的視点から変化を把握するため、同一指標としております。新型コロナウイルス感染症の影響などの特別な事態があった際には、注記を付けるなど検討していきたいと思います。

【その他】

P1 No.2学校人権教育：三郷の児童育成に関する施策・事業がたくさんあることを知った。こんなにも子育てについての事業があり、心強く感じられた。

P3 No.24親の学習推進事業：コロナ禍、Zoom等を通して事業への前向きな取組を評価します。

P3 No.25情報モラル教育の推進：情報モラルは、今日的な大きな課題であり、熱意を持って先進的に今後も徹底した推進を望みます。

P4 No.32就学支援委員会：個に応じた進学先についてのアドバイスは受けられているのか、決まらずにいることの戸惑いを感じた。

P11 No.52中学生社会体験チャレンジ事業：今年も社会体験できないのか。コロナ禍で中止された事業も多くとても残念だ。

P13 No.65幼小・保小・小中・中高連絡会：幼稚園・保育園等と小学校、中学校、高校で連絡会ができていて良かった。

P13 No.67環境教育出前講座：環境については地球規模での大きな関心の一つです。申込みが無かったことはとても残念です。是非、今後も三郷の子ども達・市民が大きな関心を抱き、実行していけるよう、広報など創意工夫し推進して頂きたい。

P13 No.69特別支援教育就学奨励費補助金事業：補助金を受けている件数475件、現状を知った。

P16 No.82乳幼児健康診査：「要受診」判定になった医療機関の受診率71.3%の調査結果、未受診者が特に問題ないことを願います。

P19 No.99女性相談：専門のカウンセラーを導入されたり、質的充実が見受けられた。コロナ禍でも実施できるような方法（オンライン等）へのより一層の転換が求められていると思う。

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症防止のため、中止となった行事が多かったので、令和3年度は、感染防止対策を十分にとり開催してもらいたい。